

環境マネジメントシステムの

取り組み状況

39項目の目標はおおむね達成

市では、環境保全、環境汚染の予防に配慮した活動を積極的に進めていくため、環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。

平成22年度も「自然と調和した潤いのある街づくりの推進」と「省資源、省エネ、リサイクルの推進」の実現のため、ペットボトルキャップリサイクル事業の実施など39項目の環境目標に取り組み、38項目で達成することができました。(左表は主な達成状況)

環境マネジメントシステムとは

環境保全に関する取り組みを進めるために、環境に関する方針や目標などを自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境マネジメント」と言います。また、このための工場や事業場内の体制や手続きなどの仕組みのことを「環境マネジメントシステム(EMS)」と言い、この国際規格が「ISO14001」です。

大館市は、平成12年からISO14001

001の認証を受けていますが、これを維持していくためには、第三者の審査登録機関による審査を受ける必要があります。

環境マネジメントは、事業活動を環境に優しいものに変えていくために効果的な手法で、幅広い組織や事業者が積極的に取り組んでいくことが期待されます。



お問い合わせ

環境課環境企画係

☎ 43-7049

大館市EMSネットが「内部監査員養成研修会」を開催

大館市EMSネット(ISO14001

01を取得した市内の企業や行政で構成する組織)では、5月9、10日に内部監査員養成合同研修会を開催しました。研修会には、エコシステム秋田(株)、エヌピーエス(株)、(株)エコリサイクル、ニプロファーマ(株)大館工場、大館市役所から28人が参加し、内部監査員の資格を取得しました。

また、昨年に引き続き市役所の内部監査を活用した実地研修を5月24日に開催しました。ニプロファーマ(株)から2人が参加し、市の内部監査の手順や方法を学びました。

1. 自然と調和した潤いのある街づくりの推進

環境目標	達成状況
環境保全と環境美化に努める	春季と秋季一斉クリーンアップ、河川水水質調査、酸性雪調査、カラス被害対策、不法投棄物撤去ボランティアなどを実施
公民館で実施する主要な講座や教室の中で環境問題に関する学習を取り入れる	自然観察会(釈迦内公民館) 自然散策会(長木公民館) 花いっぱい運動(花岡公民館)
大館市子どもサミットを開催し環境活動項目を決定する	大館市子どもサミットを2回開催。ペットボトルキャップの回収を行い、リサイクル原料で作られたベンチを市内の公共施設に寄贈
環境基本計画を策定する	市民アンケートの実施などにより資料を集約し、平成23~32年度版大館市環境基本計画を策定
ISO14001認証取得・維持に関する情報を提供する	エコフェアや生涯学習フェスティバルへの出展、内部監査員養成合同研修会などを実施
合併浄化槽の設置整備補助基数を75基とする	平成22年度補助基数106基
公有林の除間伐を77.61ha実施する	除間伐実施面積77.61ha
私有林の除間伐を27.53ha実施する	除間伐実施面積27.53ha
公共下水道の普及率を41.8%にする	公共下水道の普及率42.9%
公共下水道の水洗化戸数を9,400戸とする	平成22年度末水洗化戸数9,557戸

2. 省資源、省エネ、リサイクルの推進

環境目標	達成状況		
一般廃棄物排出量を3万kg以下とする	平成22年度排出量19,263.5kg 10,736.5kg削減		
電力の使用量を67万kWh以下とする	平成22年度使用量597,430kWh 72,570kWh削減		
水の使用量を5,800m ³ 以下とする	平成22年度使用量5,203.0m ³ 597m ³ 削減		
プロパンガス使用量を1,400m ³ 以下とする	平成22年度使用量997.3m ³ 402.7m ³ 削減		
事務用紙の使用量を631万枚以下とする	平成22年度使用量5,530,353枚 779,647枚削減		
グリーン購入の推進 環境物品等の調達割合を90%以上とする	[件数]	[金額]	
	基準適合	3,212件	49,031,983円
	対象	3,266件	49,455,907円
調達率	98%	99%	
公用車用燃料の使用量を別に管理する公用車を除き、19万5千ℓ以下とする	平成22年度使用量158,423.9ℓ 36,576.1ℓ削減		
ボイラー、暖房用重油、灯油使用量を別に管理する施設等を除き、4万5千ℓ以下とする	平成22年度使用量25,254.4ℓ 19,745.6ℓ削減		
ごみ分別、減量を徹底し、22年度のリサイクル率を16.77%とする	平成22年度リサイクル率15.27%		
溶融スラグ製品化等委託事業の実施	平成22年度製品化量531.3m ³		
ペットボトルキャップリサイクル運動の拡大	平成22年度回収量4,484.3kg		
廃食用油回収事業の実施	平成22年度回収量47,926.1ℓ		
年間で生ごみや鶏糞、もみ殻を合わせて1,800tを堆肥化する	平成22年度堆肥化量2,928t		
選挙用ポスター掲示板を全てリサイクルする	506箇所に設置した選挙用ポスター掲示板は全て再生紙ボードを使用し、使用後はリサイクルされた		